

株の値段は何で決まるの？



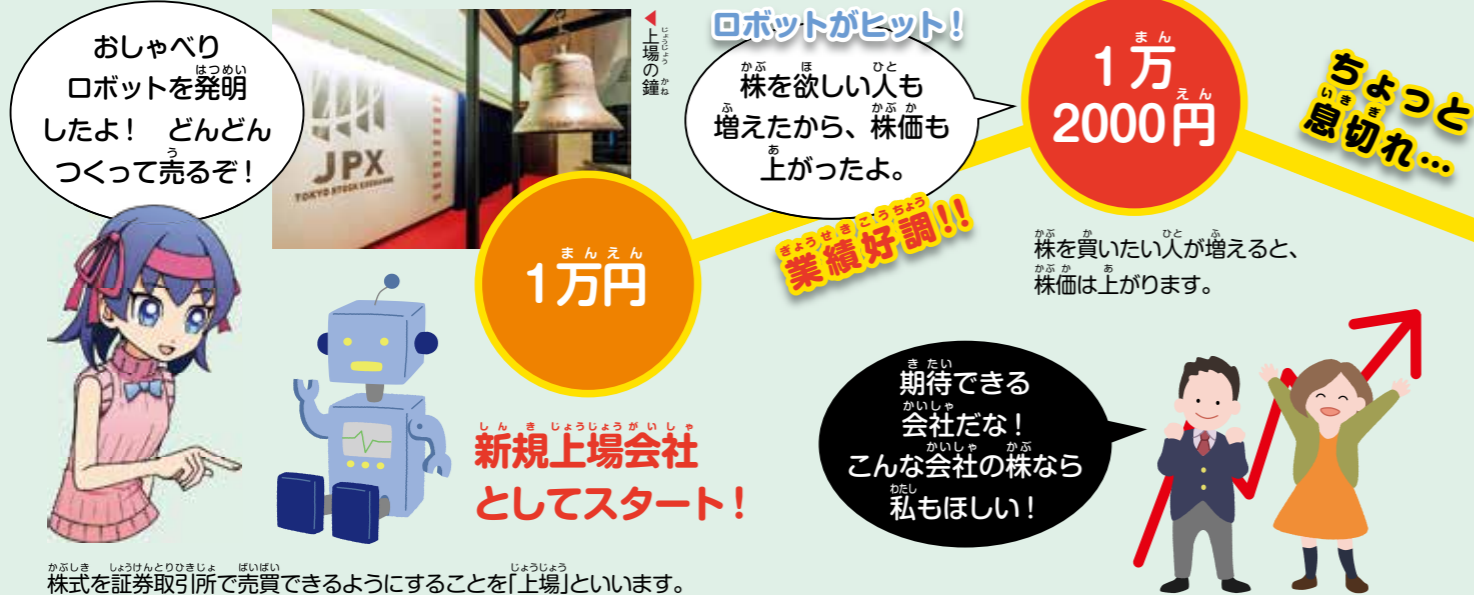
東京証券取引所

<http://www.jpx.co.jp/corporate/>

株を売買する市場が、「証券取引所」。猛スピードで売買される株の値段はどうやって決まっているのでしょうか？ 東京証券取引所に聞きました。

A 「買いたい人」と「売りたい人」の、バランスで決まるよ。

証券取引所では、猛スピードで株が売られたり買われたりしています。株の値段には、「買いたい人」と「売りたい人」のそれぞれの希望金額や、売買のタイミングが関わっています。ある会社の株の値段の移り変わりを、見てみましょう。



株の取引ルール

証券取引所での株の売買はすべてコンピューターによって行われます。コンピューターはあらかじめ決められたルールに沿って証券会社を通じて集められた注文を組み合わせていきます。売買が成立することを「約定」といいます。この過程で、株の値段は変化していきます。

コンピューターが、次の二つのルールに従って、瞬時に売買を成立させているケモ。



ルール① 価格優先の原則

「買いたい」という注文は、もっとも値段の高いものが優先されます。逆に「売りたい」という注文は、もっとも値段の低いものが優先されます。

ルール② 時間優先の原則

同じ値段の注文の場合、受付時間の早い注文が、遅い注文より優先されます。

新製品がヒットしたり、ライバルが似たような製品を発売して売れなくなったり、いろんな要因で株の値段は上がったり下がったりします。ほかにも、戦争や自然災害など、社会的な要因でも株価は変わります。



市場での取引に問題が起こらないよう、私たちが監視しています

私たちが、株の公平な取引を守っています!

答えてくれた人 東京証券取引所 株式部のみなさん

株の売買は、ミリ秒以下の猛スピードで行われています。東京証券取引所の一日の売買代金は約2.7兆円にもなります。この膨大な量の取引の中に、不正などがあると、市場全体が影響を受けてしまいます。私たちは証券会社からの注文に、不自然な点などがないか、日々リアルタイムで監視をしています。証券取引所で働く人々の仕事にはほかにも、売買の審査や上場会社のサポート、売買に使われるシステムの開発や運用などがあります。



インサイダー取引はルール違反

確実に売れる新製品が発売されると、その会社の株価は上がるはずですが、新製品の情報をあらかじめ知っている人が株を買ったと、その人だけが得をしますよね。株の売買には、みんなが平等になるように、会社に関係する人々には特別なルールがあります。もしそのルールを破ると、「インサイダー取引」として罰せられます。



東京証券取引所では、たくさんの方々の株取引が行われています。

※ 売買代金は2016年度の東証立会内取引平均